



防災だより 2023 年 02 月号

第 38 号

令和 5 年 02 月 28 日発行 関ヶ谷自治会 防災部/防災ボランティア・グループ
☆防火チーム☆情報・通信・電気チーム☆食料・物資チーム☆医療・介護チーム ☆防災資機材取扱チーム 自治会館 ☎784-4447

関東学院との初の共催による「防災フェスタ」開催

～沢山の子供と保護者の方で賑やかなフェスタだった～

2月14日(日)、10時より関東学院大学金沢文庫キャンパスにて、関東学院大学社会学部小山ゼミと関ヶ谷自治会が共催、金沢消防署釜利谷消防出張所と第六分団の協力をいただき「防災フェスタ」が開催されました。

当日は天気にも恵まれて、約 90 名強の地域の子供さんやその保護者の方、防災に関心がある多くの方に来場をいただきました。

「AED の実演・体験」「スタンドパイプによる初期消火実演・体験」「防災遊び」「工作教室」「展示ブース (防災知識、食料・水・簡易トイレの展示)」「DVD 上映ブース」「消防車の展示」「自動車からの給電実演」と 8 つのコーナーを設け、子供たちに防災への知識や関心を持ってもらえました。また、AED、スタンドパイプでは、実際に機器を使った体験もしてもらいました。

展示ブースでは、大人一人 3 日分の食料や水、簡易トイレなどを実際に展示し、備蓄量のイメージや、備蓄の大切さを学んでもらいました。自動車からの給電では、自動車内にあるコンセントから延長コードをつないでテレビモニターに避難所開設の DVD を放映したり、扇風機や赤色灯を回し、自動車のバッテリーから家電を稼働させることができることを実際に目にしてもらいました。

あるいは、スタンプラリー等で子供たちに防災の必要性、大切さをゲームを通して学習してもらいました。小山ゼミの学生たちによるきめ細かい対応もあり盛況のうちに終了しました。閉会に当たり関ヶ谷自治会防災部長の相曾さんからの挨拶で、「継続して開催したい」との言葉で締めくくりました。



開場前の朝礼風景：学生、防災 VG、自治会防災部、金沢消防署釜利谷消防出張所と第六分団



AED 体験風景



スタンドパイプ体験風景



食料・水・簡易トイレの 3 日分の展示



自動車からの給電実演



学生による広域避難場所の施設説明風

金沢区内の被害想定・自助の大切さ、ローリングストックの進め方等のパネル展示



消防車の展示



防災ボランティア・グループが再出発します

～2022年度定期総会が開催されました～

2月19日(日)、午前10時より防災ボランティア・グループ(以下、防災VG)の2022年度定期総会を、大戸会長、相曽防災部長を迎え一か月前倒しして開催しました。

防災VGは、設立以来13年間にわたり「要支援者」の見守りや発災時の安否確認・支援を担ってきましたが、本年4月よりこれらの活動が班全体で行うことになり、それを受けて防災VGの今後を審議するとても重要な総会です。

第一号議案：活動報告、第二号議案：会計報告承認。第三号議案：防災VGの今後について案は、提案に対する活動に、マイカーを使った家電稼働の要領などを公園単位(一つの例)で開催するなどして自助力の意識高揚や、班の事情に合った啓発活動などを行うなどの前向きで積極的な意見をいただき、それらを組み入れた活動を視野に入れることも含めて原案通り承認されました。活動内容の見直しに伴い規約の改訂案として第四号議案が諮られ、原案通り承認されました。第五号議案：予算案は前期同様の金額を予算案として自治会に申請することで承認されました。最後第六号議案：組織・人事案は、代表、副代表は再任、新たに設けられた支援チームに一部修正がありましたが、修正も含め承認されました。

新たになった防災VGの役割等はいかのとおりです。

1. 組織の位置づけ

防災VGの位置づけは、特別委員会ではあるが、基本的に自治会防災部に属し発災時は自治会災害対策本部の指揮の下に活動する。

2. 役割

防災VGの役割は災害発生からある程度の避難生活ができるまでの間、自治会対策本部の様々な対応事項に対してメンバーのスキルの範囲と活動可能な時間を使って支援する。いわば緊急時活動組織である。

3. メンバー

防災VGのメンバーは、「会員」と「補助会員」の二種類とする。

①会員は、基本的に支援チーム又は企画部に所属し、役割に必要なスキル向上や訓練等に参加すると同時に、防災に関する啓発などの活動を行う。

②補助会員は、発災時に参集し支援チームの補助的なサポートを行うが、代表の求めに応じて追加的な活動をする場合がある。

4. 機能

- ・企画部門：防災VG運営に関する総合的な企画、取りまとめを担う。
- ・対策本部支援チーム：災害対策本部の立ち上げおよび運営に関し支援する。
- ・情報・配給支援チーム：情報の収集や配信および物資の確保・配給を支援する。
- ・救助・補修支援チーム：被災した状況に対して自分たちのスキルの範囲で、救助・救援およびある程度往来が安全に出来るように危険個所の補修等を支援する。

以上の通り今までの5つのスキルチームを発展的に解散し、より実践的な4つの部門で活動していくことになりました。継続されるメンバーは約30名(総会前64名)となりました。新しく生まれ変わった防災VGを末永く暖かくご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。



「もしも手帳」ってご存じですか？

第二地区民生委員 乙川 さよ子

人生の最終段階での医療・ケアについて、ご自身が元気なうちから考え、希望を意思表示できるようにしよう、と横浜市では市民の方への啓発ツールとして「医療・ケアについての『もしも手帳』」を作成しました。コンパクトなお薬手帳ほどの大きさです。以下の3つの質問に回答(チェックする)しご自身の希望を明確にして伝えます。

質問1：治療やケアの希望

質問2：代理者(誰に医療・介護従事者と話し合っしてほしいか)の希望

質問3：最期を迎える場所の希望

「もしも手帳」は、民生委員が各10冊預かっていますのでご希望の方はご連絡ください(自治会館へ連絡の上民生委員の連絡先をお聞きください)。また、西金沢ケアプラザでも配布しています。

下記の横浜市のサイトからダウンロードすることもできます。

☆横浜市のダウンロードサイト⇒「0027_20190327.pdf(yokohama.lg.jp)」

